

第 23 回 Pitch to the Minister 懇談会“HIRAI Pitch” 議事概要

1. 開催日時・出席者等

- 日時：平成 30 年 12 月 21 日(金)11:00～12:00
- 場所：中央合同庁舎 8 号館 10 階 平井国務大臣室
- Pitch テーマ：AI・IoT サービスの本格活用とその効果
- 招へい者：菅谷 俊二 株式会社オプティム 代表取締役社長
- 出席者：平井国務大臣、安藤政務官、幸田内閣府審議官、三輪 CIO、神成副 CIO、三角副 CIO
住田知財事務局長、黒田審議官(科技)、行松審議官(宇宙)、柴崎参事官(IT)、
新田参事官(科技)、寺井秘書官、西山秘書官、柴山秘書官

2. 菅谷社長からの説明

- 株式会社オプティムは、「ネットを空気に変える」というコンセプトを掲げ、AI、IoT、ビッグデータのプラットフォームを提供している。同社は画像や音声などのデータの解析対象に最適な AI や API を自動選択する特許を取得し、他社の提供する複数の AI を場合に応じて使い分けられるようにしている。
- これにより、例えば農業分野においては、ドローンが取得する画像データを活用した害虫発見・駆除、医療分野においては遠隔診療、建設分野においては3次元データを活用した建設作業の高度化・効率化が図られる。

3. 質疑応答・議論

- AI の技術は日進月歩であるため、各社それぞれ AI によって行える処理について得意分野があり、それも日々競争を行っているため、時点やニーズに応じて利用する AI を選択することは非常に有意義であり、かつ解析のために提供するデータを必要最小限にするとの観点からセキュリティ上の配慮も可能である、との意見があった。
- 農業については同じ作物でも土地や環境によって生育条件が大きく異なるため、画一的な農薬の散布エリア設定は効率的ではないことから、個別最適を図るためには AI によるきめ細やかな対応が有効である、との意見があった。他方、準天頂衛星を活用しても害虫発見のために必要な誤差の条件を満たすことは非常に難しいため、組合せデータの活用も必要である、との意見があった。
- (本社のある)佐賀県で事業モデルがあることは良いことであり、同様のことを青森県でも実施している。コミュニティーが小さいので県、市町村及び大学等も全面協力していただけるほか、AI に寛容なので非常にやりやすい、地方には AI の宝が眠っているとの意見があった。
- 高齢化を救うための技術は必要であり、前向に高齢化に取り組まないといけない。日本の後ろには、これから高齢化を迎える 30 か国が日本の対応を見ている。日本は実証実験の場であり、モデルルームになっている。その中で飛び抜けたソリューションを開発しないとけない、との意見があった。

(了)

(速報のため事後修正の可能性あり)